

2022年11月30日

各位

相馬ガスホールディングス株式会社
株式会社バイオマスレジン福島

バイオマスレジン福島が浪江町北産業団地に竣工式開催

相馬ガスホールディングス株式会社（本社/福島県南相馬市原町区 代表取締役社長/渋佐寿彦）と株式会社バイオマスレジンホールディングス（本社/東京都千代田区 代表取締役 CEO/神谷雄仁）は、共同出資による合併事業として株式会社バイオマスレジン福島（本社/福島県南相馬市原町区 代表取締役/渋佐寿彦）を2021年7月に設立し、浪江町北産業団地において工場建設を行うことを準備して参りました。

この度、福島県浪江町の北産業団地に建設していたバイオマスレジン福島工場で、11月30日、竣工式を行いました。お米の国産バイオマスプラスチック「ライスレジン®」の製造工場は、東北初、全国3か所目となります。

竣工式及び前夜懇親会には、復興副大臣、福島県副知事、南相馬市長、浪江町長、地元経済界や農業関係者等から多数の来賓が参加。福島県浪江町から全国そして世界に向けたSDGsの貢献に向けた事業のスタートに立ち会って頂きました。

ライスレジンの原料となるお米は、昨年の浪江町、そして今年は、浪江町に加え飯舘村でも行われている休耕田等を活用して地元生産組合と栽培している資源米も活用します。

「ライスレジン®」により、CO2削減や石油資源の抑制をはかることができるほか、休耕田等を活用する事により農業再開につなげ、福島への貢献をしていきたいと思っています。

また、新工場へのグリーン水素供給に係る実現可能性調査が、本年7月に環境省「脱炭素×復興まちづくり」JFS委託事業に採択され、既に新工場におけるグリーン水素供給の利活用の検討がスタートしております。具体的には、ライスレジン生成時の乾燥工程で熱を水素とガスを混焼させた電力および水素とガスを混焼させて発電した熱を活用することなどを検討しております。この取り組みを行うことにより、素材・生成工程の両方で二酸化炭素の削減につながります。

日本政府は、2030年までにバイオマスプラスチックを約197万トン導入するとしており、バイオマスレジングループでは、今後、2025年までに、全国8か所で工場を建設、約10万トンの生産をする予定です。

政府の方針の下、バイオマスレジン福島工場の稼働により、浪江町から全国そして世界に向け、SDGsに貢献していくとともに、相馬ガスグループは、地域の総合エネルギー企業として、新工場の建設を通じて、新たな脱炭素へ向けた取り組みを行うことにより、地域創生、雇用創出を地元企業として実現して参ります。

■ 竣工式について

1. 日時

令和4年11月20日（水）9：30～

2. 場所

株式会社バイオマスレジン福島 浪江工場内



■ 株式会社バイオレジン福島 工場概要



- ・ 所在地 福島県双葉郡浪江町大字棚塩字北金ヶ森 1-1
- ・ 総工費 9.9 億円
- ・ 面積 土地：2.11ha
工場：1,776 m² (延床面積)
設備：ライスレジン製造設備 × 2ライン
- ・ 従業員数 10名 (兼務者含む) ※2022年11月30日現在
- ・ 生産量 5t/日でスタート、10t/日を目指す。約3,000t/年を見込む。
- ・ (株)バイオマスレジン福島 HP

<https://www.biomass-resin.com/about/fukushima/>

■ 浪江町におけるバイオマスレジン製造プラント等へのグリーン水素供給等に係る FS 事業について（環境省「令和3年度「脱炭素×復興まちづくり」FS 委託業務に採択）

・ 業務の目的

「脱炭素」と「復興」の両立に向けた取組を推進するため、環境再生事業と連携しつつ、脱炭素、資源循環、自然共生の視点を踏まえた、「脱炭素×復興まちづくり」の先進モデル創出を図る。

・ 実施体制

【代表事業者】 EY ストラテジー・アンド・コンサルティング

【共同事業実施協力者】 相馬ガスホールディングス、スマートアグリ・リレーションズ、バイオマスレジン福島

・ 実施期間

2021年8月～2022年3月

・ 今後の展開について

FS 委託業務で策定したレジンプラントにおけるエネルギー利活用ロードマップの実現に向け、事業性評価を踏まえつつ、レジンプラント等に対するグリーン水素等の導入を図る。

また、本事業モデルが構築されたのちは、同モデルを浪江町以外に立地するレジンプラントにも横展開していくことで、他地域においてもゼロエミッションプラントの実現を図っていく。

■ 相馬ガスグループのこれまでの水素社会への取り組み

2015年3月に北九州市にて、水素ステーションや八幡製鉄所から出る副生水素をパイプラインで住宅に供給する実証実験の現場などを見学し、また、南相馬市や福島県などで水素社会の勉強会を何度か開催し、水素社会への取り組みを提案いたしました。その後、福島県のイノベーションコースト構想に水素社会への取り組みが盛り込まれることとなりました。

2016年5月に南相馬市内で水素社会シンポジウムを開催し、水素社会の権威である東京理科大学教授の橋川武郎先生に基調講演を実施いたしました。

自社グループの事業として、2017年7月にSHS（スマート水素ステーション）を設置し、その後継続的に水素関連事業に取り組んでおります。



【本件についての問い合わせ先】

相馬ガスホールディングス株式会社 専務取締役
(株式会社バイオマスレジン福島 取締役社長)
今津 健充
TEL : 0244-22-4101 / Fax : 0244-24-0580